

令和6年版

消 防 年 報



真庭市消防本部

は　じ　め　に

この年報は、令和6年中（2024年）における真庭市消防本部の主要な消防業務に関する諸般の実績を収録したもので、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介することにより、今後の消防行政を推進するための資料として作成したものです。

多発する自然災害や、災害の大規模化、多様化が進行している今日、消防に対する管内住民の期待と負託に応えられるよう職員一同心を新たに前進してまいります。

この年報が、いささかでも地域の防火・防災の一助となりますよう幅広くご活用いただければ幸いに存じます。

なお、組織内容については令和7年4月1日現在を掲載しております。

令和7年（2025年） 7 月

真 庭 市 消 防 本 部

目 次

第1章 概 況

1	沿革	1
2	消防本部・署の組織機構	8
3	消防庁舎の現況	9
4	管内情勢	9

第2章 総務編

1	職員配置状況	10
2	消防吏員の階級別勤続年数	11
3	消防吏員の年齢構成	12
4	職員の教養実施状況（学校派遣等）	13
5	職員の教養実施状況（内部研修）	14
6	職員の訓練実施状況	14
7	消防本部事務分掌	15
8	消防署事務分掌	17

第3章 予防編

1	関係法令等に基づく届出状況	19
2	防火対象物の現況及び査察状況	20
3	防火管理者を必要とする対象物の状況	21
4	立入検査等件数	22
5	消防用設備等届出状況	22
6	確認申請同意事務用途別処理状況	23
7	消防用設備等設置届事務処理状況	24
8	広報実施活動状況	25
9	広報対象別防火指導状況表	25
10	防火クラブ結成状況	26
11	危険物製造所等の事務処理状況	27
12	類別施設状況・倍数施設状況・査察実施数	28
13	高圧ガス施設等の事務処理状況	29
14	高圧ガス施設等の事故発生状況	30
15	充てん設備申請関係	30

第4章 警防編

＜火災編＞

- 1 火災の発生状況（本庁・振興局別）……………31
- 2 火災発生件数の推移（過去5年間）……………32
- 3 本庁・振興局別火災発生件数の推移（過去5年間）……………32
- 4 高速道路別火災発生件数の推移（過去5年間）……………32

＜救急・救助編＞

- 5 救急出場件数の推移……………33
- 6 出場先別出場件数及び搬送人員の推移（過去5年間）……………33
- 7 救急出場件数及び急病出場の推移……………34
- 8 救急出場件数の内訳……………34
- 9 月別救急出場件数及び急病件数……………35
- 10 曜日別救急出場件数……………35
- 11 時間帯別救急出場件数……………36
- 12 事故種別救急搬送人員……………36
- 13 現場到着所要時間別救急出場件数……………37
- 14 収容所要時間別救急搬送人員……………37
- 15 救助活動状況の推移（過去5年間）……………38

＜通信編＞

- 16 無線通信施設……………39

＜消防装備＞

- 17 本部・署自動車現勢一覧表……………40

第1章

概況

1 沿 革

昭和 46 年	3 月	真庭広域市町村圏計画(広域常備消防整備計画)策定
	10 月	消防本部及び消防署設置についての政令の指定申請
昭和 47 年	4 月	真庭消防組合設立許可
	10 月	真庭消防本部、真庭消防署の業務を開始 (職員 21 名、消防ポンプ自動車・救急車・指令車各 1 台)
	12 月	真庭消防本部、真庭消防署庁舎完成
昭和 48 年	4 月	職員 24 名採用、実員 44 名となる
	6 月	蒜山・美新・北房各分署庁舎完成
	6 月	蒜山・湯原・美新・北房各分署に職員 6 名、消防ポンプ自動車 1 台、救急車 1 台を配備
	7 月	無線局開局
	7 月	湯原分署庁舎完成
	11 月	小型動力ポンプ 2 台配備
昭和 49 年	3 月	水槽付消防ポンプ自動車・化学消防自動車各 1 台配備
	3 月	本署待機宿舎完成
	4 月	職員 14 名採用、実員 58 名となる
	7 月	小型動力ポンプ 3 台配備
	9 月	小型動力ポンプ積載車 5 台配備
昭和 50 年	4 月	職員 1 名採用、実員 59 名となる
	10 月	職員 2 名退職、実員 57 名となる
昭和 51 年	3 月	救急車 1 台を配備
	4 月	職員 3 名採用、実員 60 名となる
昭和 52 年	5 月	救助訓練塔完成
昭和 53 年	3 月	蒜山・美新各分署車庫完成
	4 月	職員 2 名採用、実員 62 名となる
	4 月	本署油脂庫完成
	9 月	指令車 1 台配備
	9 月	日本消防協会より広報車の寄贈を受け本署へ配備
昭和 54 年	3 月	岡山県共済農協連より救急車の寄贈を受け配備
	4 月	職員 2 名採用、実員 64 名となる
	10 月	本署・湯原分署車庫完成
昭和 55 年	3 月	広報車 1 台配備
	3 月	救急訓練用具格納庫完成
	10 月	救急車 1 台、広報車 4 台配備
	11 月	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受け配備
昭和 56 年	2 月	救急車 1 台配備
	4 月	職員 4 名採用、実員 68 名となる
昭和 57 年	3 月	職員 2 名退職、実員 66 名となる
	10 月	創立 10 周年記念式典

昭和 58 年	8 月	日本消防協会より救急車の寄贈を受け配備
	9 月	岡山県の補助を受け小型ポンプ 1 台を配備
昭和 59 年	3 月	本署通信指令室改築工事完成
	3 月	救助資機材搬送車配備
	3 月	職員 1 名退職、実員 6 5 名となる
	4 月	職員 2 名採用、実員 6 7 名となる
	11 月	救急指令装置 C 型設置工事完成
昭和 60 年	8 月	日本消防協会より防火広報車の寄贈を受け配備
昭和 61 年	5 月	津山信用金庫より救急車の寄贈を受け配備
	6 月	真庭圏域危険物安全協会より連絡車の寄贈を受け配備
	7 月	本部庁舎屋根改修工事完成
	10 月	消防ポンプ自動車 1 台更新
昭和 62 年	3 月	広報車 1 台更新
	3 月	指揮指令車 1 台更新
	3 月	職員 3 名退職、実員 6 4 名となる
	4 月	職員 3 名採用、実員 6 7 名となる
	10 月	美新分署庁舎改修工事完成
	10 月	消防ポンプ自動車 1 台更新
昭和 63 年	3 月	広報車 1 台更新
	10 月	蒜山分署庁舎改修工事完成
	12 月	岡山県共済農協連より救急車の寄贈を受け配備
	12 月	水槽付消防ポンプ自動車 1 台更新
平成元年	3 月	広報車 1 台更新
	3 月	職員 1 名退職、実員 6 6 名となる
	4 月	職員 1 名採用、実員 6 7 名となる
	10 月	湯原分署庁舎改修工事完成
	12 月	消防ポンプ自動車 1 台更新
平成 2 年	3 月	職員 1 名退職、実員 6 6 名となる
	4 月	職員 2 名採用、実員 6 8 名となる
	5 月	美新分署連絡車更新
	10 月	北房分署庁舎改修工事完成
	12 月	岡山県共済農協連より救急車の寄贈を受け配備
	12 月	消防ポンプ自動車 1 台更新
平成 3 年	10 月	(社)日本損害保険協会より救助工作車の寄贈を受け本署に配備
	11 月	岡山県共済農協連より救急車の寄贈を受け配備 (更新)
	12 月	消防ポンプ自動車 1 台更新
平成 4 年	2 月	消防無線中継局移設工事完成
	4 月	職員 4 名採用、実員 7 2 名となる
	10 月	創立 2 0 周年記念式典
平成 5 年	3 月	本署連絡車配備

	3 月	職員 1 名退職、実員 7 1 名となる
	4 月	職員 4 名採用、実員 7 5 名となる
	10 月	蒜山分署庁舎裏舗装工事完成
	12 月	岡山県共済農協連より救急車の寄贈を受け配備（更新）
	12 月	全救急車に患者監視装置を装備
平成 6 年	4 月	職員 5 名採用、実員 8 0 名となる
	6 月	救助訓練塔改修工事完成
	6 月	蒜山・美新分署庁舎増築工事完成
	9 月	本部庁舎増築工事完成
	11 月	真庭圏域危険物安全協会より連絡車の寄贈を受け本署に配備
平成 7 年	3 月	職員 2 名退職、実員 7 8 名となる
	4 月	職員 6 名採用、実員 8 4 名となる
	9 月	第 1 回普通救命講習会開催
	12 月	北房分署庁舎増築工事完成
平成 8 年	1 月	災害対応多目的車を本署に配備
	3 月	職員 1 名退職、実員 8 3 名となる
	4 月	職員 3 名採用、実員 8 6 名となる
	5 月	救急救命士国家資格試験合格 1 名（計 1 名）
	6 月	蒜山分署連絡車更新
	6 月	消防緊急通信指令システム検討委員会発足
	7 月	湯原分署庁舎増築工事完成
	9 月	津山信用金庫より救急車の寄贈を受け配備
	10 月	消防職員委員会制度スタート
平成 9 年	4 月	ライオンズクラブ国際協会よりビデオプロジェクター一式の寄贈を受ける
	5 月	救急救命士国家資格試験合格 2 名（計 3 名）
	7 月	北房分署連絡車更新
平成 10 年	3 月	職員 3 名退職、実員 8 3 名となる
	4 月	職員 3 名採用、実員 8 6 名となる
	4 月	湯原分署連絡車更新
	5 月	救急救命士国家資格試験合格 1 名（計 4 名）
	7 月	職員 1 名退職、実員 8 5 名となる
	10 月	職員 1 名採用、実員 8 6 名となる
	11 月	救急救命士国家資格試験合格 1 名（計 5 名）
	12 月	蒜山分署消防ポンプ自動車更新
平成 11 年	2 月	高規格救急自動車本署に配備
	8 月	本署多目的車更新
	9 月	美新分署連絡車更新
平成 12 年	4 月	救急救命士国家資格試験合格 1 名（計 6 名）
	11 月	消防緊急通信指令システム運用開始
	11 月	本署指揮車更新

	11 月	救急救命士国家資格試験合格 1 名 (計 7 名)
平成 13 年	3 月	高規格救急自動車蒜山分署に配備
	3 月	職員 3 名退職、実員 8 3 名となる
	3 月	真庭消防組合解散
	4 月	真庭広域連合設立
	4 月	真庭広域連合消防本部発足
	4 月	職員 2 名採用、事務局へ 1 名出向、実員 8 4 名となる
	10 月	岡山県 L P G 協会より救急車の寄贈を受け配備
	11 月	津山信用金庫より救急車の寄贈を受け配備
平成 14 年	3 月	職員 4 名退職、実員 8 0 名となる
	4 月	職員 4 名採用、実員 8 4 名となる
	4 月	救急救命士国家資格試験合格 1 名 (計 8 名)
平成 15 年	3 月	(社)日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け本署に配備
	4 月	庁内 L A N システム運用開始
	4 月	救急救命士国家資格試験合格 2 名 (計 1 0 名)
	11 月	救急救命士国家資格試験合格 1 名 (計 1 1 名)
	12 月	水槽付消防ポンプ自動車を更新し、北房分署へ配備
平成 16 年	3 月	職員 3 名退職、実員 8 1 名となる
	4 月	職員 2 名採用、事務局より 1 名帰任、実員 8 4 名となる
	4 月	救急救命士国家資格試験合格 1 名 (計 1 2 名)
	11 月	救急救命士国家資格試験合格 1 名 (計 1 3 名)
平成 17 年	2 月	災害対応多目的車を資器材運搬車に更新し本署へ配備
	3 月	本署庁舎増築工事完成。真庭広域連合消防本部解散
		真庭市消防本部発足。職員 1 名退職、実員 8 3 名となる
	4 月	職員 3 名採用、実員 8 6 名となる
	5 月	救急救命士国家資格試験合格 2 名 (計 1 5 名)
	11 月	救急救命士国家資格試験合格 2 名 (計 1 7 名)
平成 18 年	2 月	高規格救急車を配備
	3 月	職員 4 名退職、実員 8 2 名となる
	4 月	職員 4 名採用、実員 8 6 名となる
	5 月	救急救命士国家資格試験合格 1 名 (計 1 8 名)
	10 月	津山信用金庫より高規格救急車の寄贈を受け配備
平成 19 年	3 月	職員 2 名退職、実員 8 4 名となる
	4 月	職員 4 名採用、実員 8 8 名となる
	4 月	救急救命士国家資格試験合格 1 名 (計 1 9 名)
	12 月	救助工作車を更新し、本署へ配備
平成 20 年	3 月	職員 2 名退職、実員 8 6 名となる
	4 月	職員 8 名採用、実員 9 4 名となる
	5 月	救急救命士国家資格試験合格 2 名 (計 2 1 名)
平成 21 年	3 月	職員 5 名退職、実員 8 9 名となる

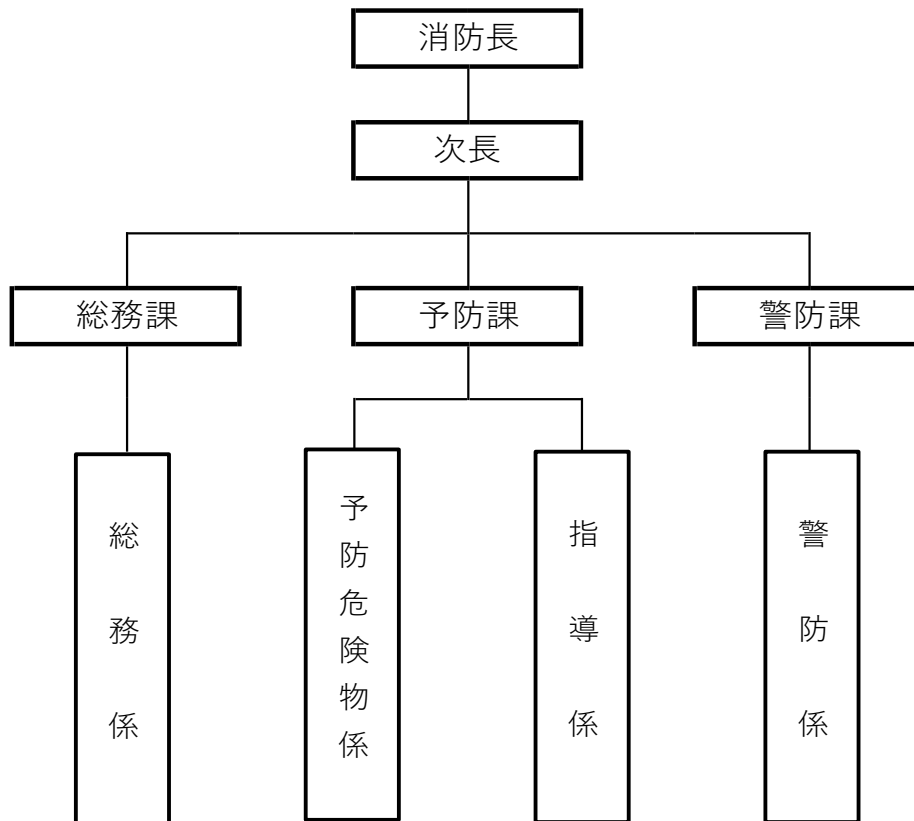
	4 月	職員 8 名採用、岡山県消防防災航空センターへ 1 名派遣、実員 9 7 名となる。
	5 月	救急救命士国家資格試験合格 1 名（計 2 2 名）
平成 22 年	3 月	水槽付消防ポンプ自動車本署に配備
	3 月	職員 5 名退職、実員 9 2 名となる
	4 月	職員 6 名採用、実員 9 8 名となる
	5 月	水槽付消防ポンプ自動車を本署に配備
	5 月	救急救命士国家資格試験合格 1 名（計 2 3 名）
	9 月	訓練場拡張及び臨時ヘリポートを整備
	9 月	全国共済農業共同組合連合会岡山県本部より高規格救急車の寄贈を受け湯原分署に配備
平成 23 年	3 月	職員 2 名退職、実員 9 6 名となる
	4 月	職員 2 名採用、実員 9 8 名となる
	5 月	救急救命士国家資格試験合格 1 名（計 2 4 名）
平成 24 年	2 月	高規格救急自動車を本署に配備
	3 月	職員 5 名退職、実員 9 3 名となる
	4 月	職員 4 名採用、実員 9 7 名となる
	4 月	津山圏域消防組合、美作市消防本部、真庭市消防本部による消防指令業務の共同運用(美作地区消防指令センター)開始
	5 月	救急救命士国家資格試験合格 1 名（計 2 3 名）
	6 月	蒜山分署多目的車更新
	10 月	水槽付消防ポンプ自動車を湯原分署に配備
平成 25 年	3 月	職員 1 名退職、実員 9 6 名となる
	4 月	職員 2 名採用、実員 9 8 名となる
	4 月	岡山県消防防災航空センターへの派遣職員復帰
	5 月	救急救命士国家資格試験合格 1 名（計 2 4 名）
平成 26 年	3 月	消防本部庁舎耐震補強工事終了
	3 月	職員 5 名退職、実員 9 3 名となる
	4 月	職員 5 名採用、実員 9 8 名となる
	4 月	救急救命士国家資格試験合格 3 名（計 2 6 名）
	6 月	真庭圏域危険物安全協会発足 4 0 周年記念事業として危険物施設指導車を寄贈され、消防本部へ配備
	7 月	消防本部車 1 台更新
	10 月	水槽付消防ポンプ自動車 1 台更新
	12 月	資機材搬送車 1 台更新
平成 27 年	3 月	救急救命士国家資格試験合格 1 名（計 2 6 名）
	3 月	職員 5 名退職、実員 9 3 名となる
	4 月	職員 5 名採用、実員 9 8 名となる
	4 月	消防救急デジタル無線運用開始
	9 月	ビデオ喉頭鏡を全救急車へ配備
平成 28 年	3 月	救急救命士国家資格試験合格 1 名（計 2 6 名）

平成 28 年	3 月	職員 5 名退職、実員 9 3 名となる
	4 月	職員 5 名採用、実員 9 8 名となる
	12 月	災害対応特殊救急自動車 1 台を本署へ配備
平成 29 年	3 月	救急救命士国家資格試験合格 1 名（計 2 8 名）
	3 月	職員 2 名退職、実員 9 6 名となる
	4 月	職員 1 名採用、実員 9 7 名となる
	7 月	職員 1 名採用、実員 9 8 名となる
	12 月	防火服 3 2 着更新
	12 月	災害対応特殊消防ポンプ自動車 1 台を本署へ配備
平成 30 年	3 月	救急救命士国家資格試験合格 1 名（計 2 9 名）
	3 月	職員 1 名退職、実員 9 7 名となる
	4 月	職員 1 名採用、実員 9 8 名となる
	6 月	消防湯原分署移転整備設計業務公募型プロポーザル実施
	12 月	防火服 2 9 着更新
平成 31 年	1 月	多目的緊急自動車 1 台更新、本署へ配備
	1 月	多目的自動車 1 台更新、北房分署へ配備
	3 月	救急救命士国家資格試験合格 1 名（計 3 0 名）
	3 月	職員 2 名退職、実員 9 6 名となる
	4 月	職員 1 名採用、実員 9 7 名となる
令和元年	8 月	多目的自動車 1 台更新、本署へ配備
	9 月	多目的緊急自動車 1 台更新、湯原分署へ配備
	11 月	防火服 2 9 着更新
	12 月	高規格救急自動車 1 台更新、美新分署へ配備
令和 2 年	3 月	救急救命士国家資格試験合格 1 名（計 3 1 名）
	3 月	職員 2 名退職、実員 9 5 名となる
	4 月	消防署湯原分署開署式
	4 月	職員 3 名採用、実員 9 8 名となる
	11 月	高規格救急自動車 1 台更新、北房分署へ配備
令和 3 年	3 月	救急救命士国家資格試験合格 1 名（計 3 2 名）
	6 月	救助工作車 1 台更新、本署へ配備
令和 4 年	3 月	救急救命士国家資格試験合格 2 名（計 3 4 名）
	3 月	職員 3 名退職、実員 9 5 名となる。
	4 月	職員 4 名採用、実員 9 9 名となる。
	7 月	救命ボート 1 艇更新
	9 月	資機材搬送車 1 台更新
	11 月	高規格救急自動車 2 台更新、本署・蒜山分署へ配備
令和 5 年	3 月	救急救命士国家資格試験合格 2 名（計 3 7 名）
	3 月	職員 3 名退職、実員 9 6 名となる。
	4 月	消防署北房分署開署式
	4 月	職員 2 名採用、実員 9 8 名となる。
令和 6 年	2 月	高規格救急自動車 1 台更新 湯原分署へ配備

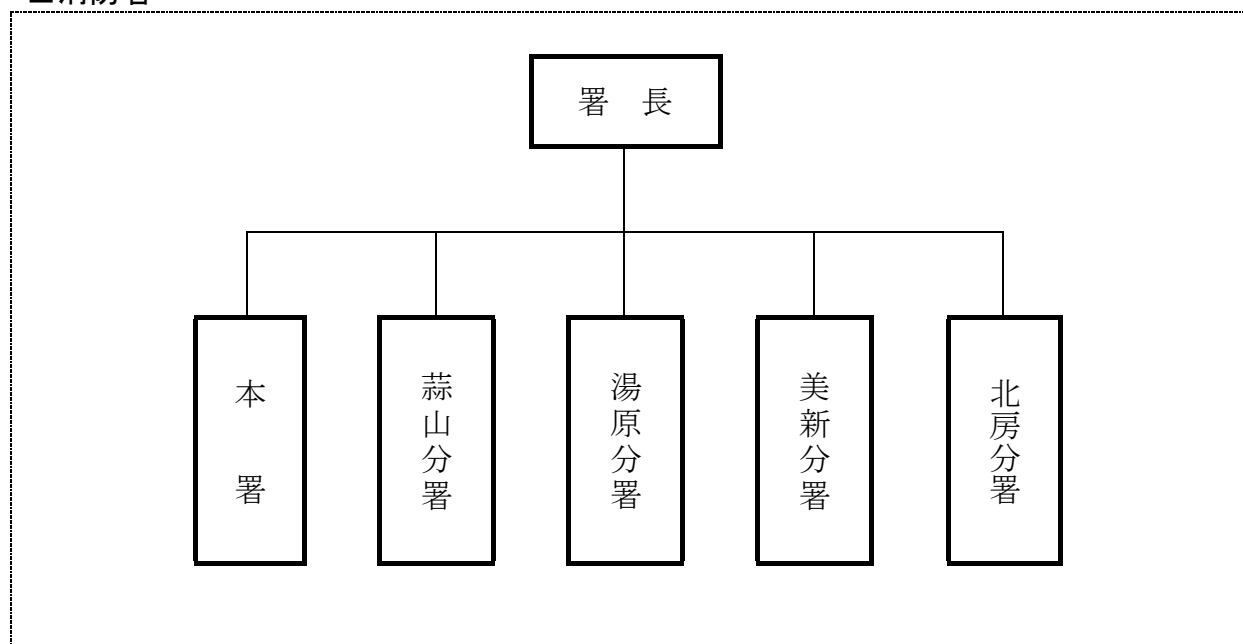
	3 月	救急救命士国家試験合格 1 名（計 3 8 名）
	3 月	職員 1 名退職、実員 9 7 名となる
	4 月	職員 2 名採用、実員 9 9 名となる
	10 月	多目的自動車 2 台購入 本署、美新分署へ配備
令和 7 年	3 月	職員 3 名退職、実員 9 6 名となる
	4 月	消防署蒜山分署開署式
	4 月	職員 3 名採用、実員 9 9 名となる

2 消防本部・署の組織機構

■消防本部



■消防署



3 消防庁舎の現況

項 目	所在地	構 造	建築 年月	建築 面積 (㎡)	延面積 (㎡)
消防本部	真庭市惣 254-8	RC 造(一部 S 造)2 階建	S47. 12	737. 4	1, 523. 94
消 防 署					
蒜山分署	真庭市蒜山下福田 300-1	CLT 造(一部 RC 造)平屋建	R7. 4. 1	550. 89	492. 52
湯原分署	真庭市下湯原 47	RC 造(一部 S 造)平屋建	R2. 4. 1	431. 0	431. 0
美新分署	真庭市美甘 2103	RC 造平屋建	S48. 6	196. 5	196. 5
北房分署	真庭市上水田 6386	CLT 造(一部 RC 造)平屋建	R5. 4. 1	485. 19	447. 72

4 管内情勢

区 分		令和 6 年度	令和 7 年度
人 口		42, 071 人	41, 148 人
世 帯 数		17, 799 世帯	17, 688 世帯
管内面積		895. 63 km ²	895. 63 km ²
消防職員		99 人	99 人
1 署に対する	面 積	179. 1 km ²	179. 1 km ²
	人 口	8, 414 人	8, 230 人
	世帯数	3, 560 世帯	3, 538 世帯
消防職員 1 人に対する	面 積	9. 0 km ²	9. 0 km ²
	人 口	425 人	416 人
	世帯数	180 世帯	179 世帯
消防ポンプ自動車	(台)	7 台	7 台
消防ポンプ自動車 1 台に対する	面 積	127. 9 km ²	127. 9 km ²
	人 口	6, 010 人	5, 878 人
	世帯数	2, 543 世帯	2, 527 世帯
救急自動車 1 台に対する	(台)	6 台	6 台
	面 積	149. 27 km ²	149. 27 km ²
	人 口	7, 012 人	6, 858 人
	世帯数	2, 967 世帯	2, 948 世帯

第2章

総務編

1 職員配置状況

区分		合計	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士
定員		102						
実員		99	1	17	32	24	13	12
消防本部	消防長	1	1					
	次長	1		1				
	総務課	課 長	1	1				
		総括参事						
		総務係	3	1	2			
		総務課付	1			1		
	予防課	課 長	1	1				
		総括参事						
		予防 危険物係	3		2			1
		指導係	3		2		1	
	警防課	課 長	1	1				
		総括参事						
		警防係	3		2	1		
	小計		18	1	5	8	2	1
消防署	署長			次長事務取扱				
	本署	34		5	9	9	5	6
	蒜山分署	11		1	4	4	1	1
	湯原分署	11		2	4	2	2	1
	美新分署	10		1	3	2	2	2
	北房分署	11		1	4	3	2	1
	指令センター	4		2		2		
	小計	81		12	24	22	12	11

2 消防吏員の階級別勤続年数

区 分	合計	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
合 計	99	1	17	32	24	13	12
1 年未満	3	0	0	0	0	0	3
1 年以上 2 年未満	2	0	0	0	0	0	2
2 ～ 3	2	0	0	0	0	0	2
3 ～ 4	4	0	0	0	0	0	4
4 ～ 5	0	0	0	0	0	0	0
5 ～ 6	1	0	0	0	0	1	0
6 ～ 7	1	0	0	0	0	0	1
7 ～ 8	0	0	0	0	0	0	0
8 ～ 9	1	0	0	0	0	1	0
9 ～ 10	5	0	0	0	0	5	0
10 ～ 11	3	0	0	0	1	2	0
11 ～ 12	5	0	0	0	2	3	0
12 ～ 13	2	0	0	0	2	0	0
13 ～ 14	4	0	0	0	3	1	0
14 ～ 15	2	0	0	0	2	0	0
15 ～ 16	5	0	0	1	4	0	0
16 ～ 17	6	0	0	1	5	0	0
17 ～ 18	7	0	0	4	3	0	0
18 ～ 19	3	0	0	1	2	0	0
19 ～ 20	4	0	0	4	0	0	0
20 ～ 21	1	0	0	1	0	0	0
21 ～ 22	2	0	0	2	0	0	0
22 ～ 23	0	0	0	0	0	0	0
23 ～ 24	4	0	0	4	0	0	0
24 ～ 25	1	0	0	1	0	0	0
25 ～ 26	0	0	0	0	0	0	0
26 ～ 27	1	0	0	1	0	0	0
27 ～ 28	3	0	1	2	0	0	0
28 ～ 29	0	0	0	0	0	0	0
29 ～ 30	3	0	1	2	0	0	0
30 ～ 31	6	0	2	4	0	0	0
31 ～ 32	5	0	2	3	0	0	0
32 ～ 33	3	0	2	1	0	0	0
33 ～ 34	4	0	4	0	0	0	0
34 ～ 35	0	0	0	0	0	0	0
35 ～ 36	2	0	2	0	0	0	0
36 ～ 37	1	0	1	0	0	0	0
37 ～ 38	0	0	0	0	0	0	0
38 ～ 39	2	0	2	0	0	0	0
39 ～ 40	0	0	0	0	0	0	0
40 年以上	1	1	0	0	0	0	0
平均勤続年数	18.7	40.0	32.7	23.6	14.6	9.5	2.0

3 消防吏員の年齢構成

区 分	合 計	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
合 計	99	1	17	32	24	13	12
18 歳以上～20 歳以下	3	0	0	0	0	0	3
21 歳以上～25 歳以下	9	0	0	0	0	0	9
26 歳以上～30 歳以下	12	0	0	0	1	11	0
31 歳以上～35 歳以下	12	0	0	0	10	2	0
36 歳以上～40 歳以下	21	0	0	8	13	0	0
41 歳以上～45 歳以下	11	0	0	11	0	0	0
46 歳以上～50 歳以下	14	0	1	13	0	0	0
51 歳以上～55 歳以下	12	0	12	0	0	0	0
56 歳以上～60 歳以下	5	1	4	0	0	0	0
61 歳以上～65 歳以下	0	0	0	0	0	0	0
平均年齢	39.1	59.0	53.4	46.8	36.1	28.9	22.3

4 職員の教養実施状況(学校派遣等)

R6.4～R7.3

区 分	人 数
岡山県消防学校	
初任科	2
初任科派遣教官	1
初級幹部科	2
中級幹部科	1
救助科	1
警防科	2
予防科	2
予防科公開講座	1
火災調査科	2
火災調査科公開講座	3
救助科派遣教官	1
ブラッシュアップ研修	2
通信指令研修	1
実火災体験型訓練研修	4
香川県消防学校	
特殊災害科	2
消防大学校	
上級幹部科	1
救急救命士養成研修所	
感染防止対策強化研修	1
病院実習	
就業前病院実習	3
生涯学習	26
その他研修	
通信指令シンポジウム(web)	1
予防技術検定	2
安全衛生管理研修(大阪)	1
市町村振興センター研修等	
3年目研修	4
7年目研修	1
10年目研修	3
議会对応研修	2
新任係長研修	3
新任課長研修	4
文章力向上研修	4
法制執務(基礎)研修	1
クレーム対応能力研修	1
合 計	85

5 職員の教養実施状況（内部研修）

R6. 4～R7. 3

区 分	内 容	回 数	人 数
署内教養	救急救養	612	2, 283
	火災防ぎょ教養	71	368
	救助教養	54	284
	安全管理教養	29	94
	火災調査教養	21	92
	指令・無線教養	9	32
	訓練礼式教養	3	9
	その他	270	1, 118
合 計		1, 069	4, 280

6 職員の訓練実施状況

R6. 4～R7. 3

区 分		回 数	人 数
署内訓練	消防訓練	66	420
	放水訓練	83	444
	運用訓練（機関員訓練）	108	388
	救急訓練	438	1, 910
	救助訓練	242	2, 192
	その他	54	329
救助隊	救助訓練	116	541
合 計		1, 107	6, 224

7 消防本部事務分掌

総 務 課

- ・ 消防の組織及び企画に関すること
- ・ 公印の保管に関すること
- ・ 文書の収受及び発送並びに記録の整理保存に関すること
- ・ 条例、規則、その他例規に関すること
- ・ 職員の人事及び給与に関すること
- ・ 職員の任免、分限、懲戒及び服務に関すること
- ・ 職員の福利厚生及び健康管理に関すること
- ・ 職員の公務災害補償に関すること
- ・ 職員の研修に関すること
- ・ 職員の表彰及び賞じゅつ金に関すること
- ・ 消防職員委員会に関すること
- ・ 消防統計に関すること
- ・ 予算の編成、決算及び会計経理に関すること
- ・ 職員の貸与品に関すること
- ・ 消防財産の管理、営繕、保管及び備品に関すること
- ・ 他の課に属しない事務に関すること
- ・ 課内の総合調整に関すること

警 防 課

- ・ 水防計画、警防計画及び出場計画に関すること
- ・ 消防車両の配置、整備、検査及び保険に関すること
- ・ 消防機械器具の配置、整備及び管理に関すること
- ・ 通信機器の配置、管理等に関すること
- ・ 交通安全に関すること
- ・ 消防訓練に関すること
- ・ 救急業務の実施計画、出場計画に関すること
- ・ 救急医療機関に関すること
- ・ 救急技術の研修及び訓練計画に関すること
- ・ 救急用資機材の整備、管理に関すること
- ・ 応急手当の普及、啓発活動の普及推進に関すること
- ・ 救急統計に関すること
- ・ 救急講習、訓練に関すること
- ・ 救助業務の実施計画、出場計画に関すること
- ・ 救助技術の研修及び訓練計画に関すること
- ・ 救助用資機材の整備、管理に関すること
- ・ 救助統計に関すること
- ・ その他警防事務に関すること
- ・ 課内の総合調整に関すること

予 防 課

- ・火災予防の普及及び査察指導に関する事
- ・火災予防の広報に関する事
- ・防火管理者の講習及び指導に関する事
- ・幼年・少年・婦人防火クラブの指導育成及び防火委員会に関する事
- ・火災の統計に関する事
- ・強制執行及び補償に関する事
- ・高圧ガスの許可に関する事
- ・高圧ガス施設の査察及び保安検査に関する事
- ・煙火の消費に係る許可及び検査に関する事
- ・液化石油ガスの設備工事に関する受理及び保安並びに指導に関する事
- ・危険物製造所等の強制執行に関する事
- ・危険物関係の届出、許可及び検査に関する事
- ・危険物の製造、貯蔵、取扱い及び運搬等の取締りに関する事
- ・危険物による災害の調査研究に関する事
- ・少量危険物及び指定可燃物の貯蔵、取扱い等の規制に関する事
- ・危険物関係の指導及び査察に関する事
- ・危険物取扱者の講習及び指導に関する事
- ・危険物安全協会の指導育成に関する事
- ・危険物関係の統計に関する事
- ・その他危険物事務に関する事
- ・課内の総合調整に関する事
- ・防火対象物の強制執行及び補償に関する事
- ・予防技術の調査及び研究に関する事
- ・予防統計に関する事
- ・消防用設備等の設置指導及び検査に関する事
- ・建築物の同意事務に関する事
- ・建築物の検査及び指導取締りに関する事
- ・防火対象物の使用開始に関する事

8 消防署事務分掌

本 署

- ・公印の保管に関する事
- ・消耗品の管理に関する事
- ・その他庶務業務に関する事
- ・本署内の総合調整に関する事
- ・消防地水利に関する事
- ・消防活動に関する事
- ・消防活動の教養、訓練に関する事
- ・消防訓練の安全管理に関する事
- ・消防業務に係る安全管理に関する事
- ・消防活動上支障のある物件の届出等に関する事
- ・消防機械器具等の整備、管理に関する事
- ・通信機器等の整備、管理に関する事
- ・消防車及び救急車、その他車両の整備、管理に関する事
- ・火災調査に関する事
- ・り災証明に関する事
- ・火災統計に関する事
- ・その他消防業務に関する事
- ・救急活動に関する事
- ・救急の教養、訓練に関する事
- ・救急訓練の安全管理に関する事
- ・救急業務に係る安全管理に関する事
- ・応急手当等の普及啓発に関する事
- ・救急資器材等の整備、管理に関する事
- ・救急統計に関する事
- ・その他救急業務に関する事
- ・救助活動に関する事
- ・救助の教養、訓練に関する事。
- ・救助訓練の安全管理に関する事
- ・救急業務に係る安全管理に関する事
- ・救助訓練塔の整備、管理に関する事
- ・救助資器材等の整備、管理に関する事
- ・救助統計に関する事
- ・その他救助業務に関する事
- ・署内見学等に関する事
- ・訓練指導等に関する事
- ・火災予防の普及に関する事
- ・火を使用する設備等の設置及び検査、指導に関する事
- ・少量危険物及び指定可燃物の貯蔵、取扱いの規制に関する事
- ・消防活動阻害物質の貯蔵、取扱いの規制に関する事
- ・液化石油ガスの届出に関する受理及び保安並びに指導に関する事
- ・2種防火対象物に関する事

- ・煙火の届出に関すること
- ・その他予防業務に関すること

分 署

- ・現場活動・安全管理に関すること
- ・予防業務に関すること
- ・訓練・教養に関すること
- ・その他業務に関すること
- ・分署内の総合調整に関すること